

# 地域の企業でも認知症サポーターの 取り組みが進んでいます

～85名のサポーターが新たに誕生、地域の見守りの目となり活動中！～



蒲原ガス株式会社地域連携推進室様から依頼を受け、認知症サポーター養成講座を実施しました。

6月～7月にかけて行い、合計85名の社員、検針員さんが新たにサポーターとなりました。社員のみなさんは、サポーターの証であるオレンジリングを身に付けて毎日仕事をしているそうです。

## 1 講座で見た寸劇が 現実に



講座を受けた翌日、作業を終えた社員さんが道端に座り込んでいる高齢の男性を見かけたそうです。ちょうど前日に学んだ養成講座の寸劇と同じような状況に思わず車を停めて声をかけたそう。気温は30度を超え、汗だくで疲れ果てた様子の男性は岩室から巻まで帰るとのことでした。途中で転んだのか足も怪我しており、その場で一時間も座り込んでいたそうです。警察への連絡は拒否されたため、会社の上司とも相談し、最終的には男性を自宅まで送り届けたそうです。

もし、声をかけずにそのまま通り過ぎていたら……熱中症で倒れたり、重大な事故につながる可能性もありました。実際に声をかけるということはとても勇気があることだったと思います。社員さんは、「受講後は、今まで何気なく通り過ぎていた人たちをより意識的に見るようになった」と話していたそうです。



グループディスカッションで  
意見を出し合いました

大丈夫ですか？



講座のおかげで高齢者の方の大変さがわかったので、  
勇気を出して声をかけることができました！

出し合った意見を元に、  
熱演する検針員さん

## 2 浦原ガス株式会社 地域連携推進室をご紹介します



地域連携推進室の  
お2人から  
お話を聞きました！

室長：高橋大蔵様

渡川恵美子様

Q 蒲原ガス株式会社地域連携推進室とはどんなことをする部署ですか？

A 地域社会との関係強化を図り、地域の課題解決と地域活性化へ資する活動を企画・推進する目的で創設しました。

Q 今回、なぜ認知症サポーター養成講座を受講しようと思ったのですか？

A 地域課題の一つである高齢化社会に向け、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に貢献できるよう受講しました。

Q 今後どのような活動をしていこうと考えていますか？

A 地域の困り事や、地域の安全・安心等に貢献できる取り組みについて更に模索し活動していきたいと考えています。

今後、高齢者の数はさらに増えることが予測されています。認知症について正しく理解し、だれもが安心して暮らせる地域となるよう、引き続き様々な企業様とも協力・連携していきたいと思っております。



来たよ～

「まさよが来る / 支え合いのしくみづくり推進員の活動だより」

### 「どうぞの庭」 part 1

素敵な花壇や庭づくりをしている人々を紹介

私は支え合いのしくみづくり推進員の仕事で地域に出かけ、様々な方々と出会う機会をいただいています。皆さんに出会うことで私自身が励まされたり元気をもらえますし、この仕事の使命感を維持できる源にもなっています。

地域に出ると、その他にも元気をいただく場面がいろいろあります。季節の花が精一杯咲いている姿を見るだけで心が満たされ、晴れ晴れとした気持ちになり元気が沸いてきます。花を見てそんな気持ちになる人はたくさんいるのではないのでしょうか。

そこで、多くの人に眺めてもらうように汗を流し、素敵な花壇や庭づくりをしている人々を紹介したくなりました。「どうぞの庭（ガーデン）」のコーナーです。

写真は、花壇のお世話をしている「アロハフラワーズ」の皆さんです。場所は巻図書館前の、道路に面した花壇です。

アロハフラワーズの皆さんは、福祉施設を訪問してフラダンスを披露したり、お花のプランターを届ける活動をされており、大変喜ばれています。このお庭は、職場の行き帰りや図書館を利用する人など、眺めて癒されている人が沢山いると思います。有難うございます。



※撮影時にマスクをはずしています